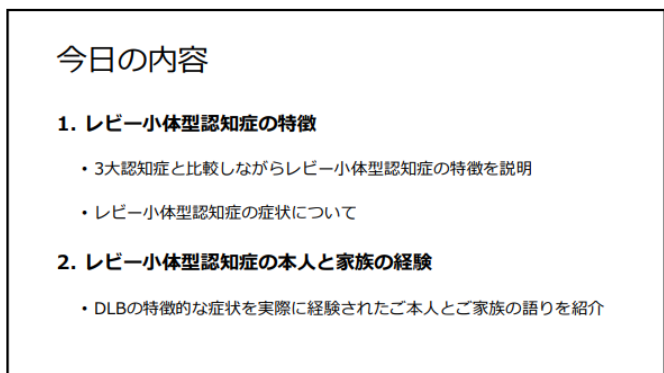
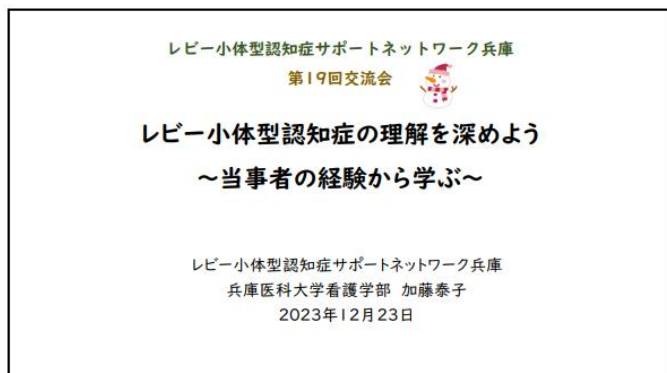


# レビー小体型認知症サポートネットワーク兵庫 第19回対面+オンライン交流会（20231223開催） 結果概要報告

## 1. 交流会の実施状況

2023年12月23日の土曜日の14時～16時に、兵庫医科大学教育研究棟の6Fで第19回の交流会を行いました。交流会は講演会（対面+オンライン）と語り合う場（対面のみ）の2部制で実施しました。

講演会は加藤泰子氏による『「レビー小体型認知症の人の理解」～当事者の体験から学ぶ～』というタイトルでお話しいただきました。



参加者は以下の通りでした。

	対面	オンライン
講演会：27人	本人3, 家族12, 専門職1	本人1, 家族1, 専門職9
語り合う場：16人	本人3, 家族12, 専門職1	—

## 2. 交流会後の Google form によるアンケート回答結果

交流会に参加されメールアドレスが把握できている方に Google form によるアンケート URL をメールで送信しました。メールの送信数16件に対しアンケートに回答があったのは13件（回収率81.2%）でした。

### 1) アンケートの回答状況

13件の回答があり、すべて女性でした。回答者の年代は20代が1人、40代2人、50代7人、60代2人、70代1人でした。属性は妻1人、子5人、医療関係者3人、介護関係者2人、行政関係者2人でした。

### 2) 講演部分の理解度および満足度

「十分に理解できた」が9件、「やや理解できた」が4件でした。「非常に満足」が7件、「やや満足」が6件でした。

### 3) 講演部分の質疑に関する自由記載の内容とそれへの回答

これまで参加したレビー小体型認知症の研修の中で、一番病態がわかりやすかったです。資料も事前に手元に用意でき助かりました。が、資料は、全部は送られてはないのでしょうか？

→ご質問ありがとうございます。資料はご指摘の通り事前にすべてはお送りできておりません。ご参加いただいた皆様に、より分かりやすく伝えられるよう交流会直前までスライドの加筆修正を重ねました結果、事前に送付したものと一部内容が異なる事態が発生いたしました。混乱を招いてしまったこと、お詫び申し上げます。

#### 4) 交流会参加の感想および意見 (アンケート回答 13 件中 4 件の記載がありました)

幻視や症状に対してそれぞれの方がどのようなお薬や対応をされているのかの体験談をお聞きできると勉強になるかなと思います。実際第二部の談話会?でもそういったお悩みを聞いたので

父がレビー小体型認知症で、今現在は深刻な状況ではないのですが、進行していくとどうなってしまうのか不安だったので参加しました。講演を聞いて不安が軽減しました。認知症になっても父は変わらない。普通に過ごしているように見えても心の中は不安に思っている。できる範囲で、父が安心して過ごせるように、サポートしていこうと思いました。ありがとうございました。

レビー小体型認知症のことを介護関係者含め、もっと広く正しく知ってほしいと思った。(直近で受けた介護認定の認定員さんがレビー小体型認知症についてあまりご存知ないように感じたため)

私のグループは子供の立場での方ばかりだったのですが、私と同じ、変わっていく親を受け止める事の難しさ、日々の不安を抱えてらっしゃるんだなと感じました。帰りに、父に改めて症状はよくなっているのかを聞きましたが、「よくなっていない。虫は相変わらずいてる。よくも悪くも慣れてきた。」と言っていました。薬でよくなる人もいますが、認知症は治らない病気だと思っています。

でも、病気を理解する事、しっかり向き合う事で、改善されると思っています。そのきっかけをくださったのが、前回の交流会だったので、今回初めて参加された方が、私達のように、これをきっかけに明るい気持ちになればと思います。次回も明るい表情で参加させていただけたらと願うばかりです。

#### 5) 次回の交流会での講演内容希望の自由記載とそれへの回答

グループディスカッション型式で進行は良かったと思います。最後にグループ毎の纏めを発表して、閉会をしていただければ嬉しいです。

→ご意見ありがとうございます。今後の交流会での課題としてまいります。

#### 具体的な検査や治療法について

→今後の交流会での講演テーマとできるように調整してまいります。

オンライン参加者にも会場の様子が分かるようにビデオ配信もお願いできましたらありがたいです。また交流会でご本人、ご家族の声を聞かせて頂くことからの学びは関係者にとっても重要ですし、関係者が参加することで、身近な当事者に貴会を紹介して下さると思います。

交流会の運営上、難しい点があるかと思っておりますので、可能な範囲でオンライン参加者にも参加できる枠を広げて頂けたら幸いです。

→貴重なご意見、ありがとうございます。当会としましてはご本人・ご家族同士の交流を重要な目的の一つとしており、参加される方々の心情やプライバシーを最優先することに努めたいと考えております。会場の様子をビデオ配信することで、対面会場に参加されている方々の顔や声が意図しない所で流出してしまう可能性があること、質疑応答で対面とオンラインでのタイムラグが生じること(過去の交流会でも散見されました)から、今回は講演部分のみをオンライン配信といたしました。

新型コロナウイルスが第5類に移行したことも踏まえ、今後は対面会場のみでの交流会開催とし、参加者全員が会場の雰囲気を感じ、互いの表情を確認しながら語り合える場をご提供する予定です。同時に、交流会でご本人・ご家族からの貴重な声に関しては、個人情報の保護に留意しつつ、本報告の2. 4)のような形を行うことに加え、社会に発信できる方法を考えていきたいと思っておりますし、様々な事情のため会場にお越し頂けない方々への対応方法も今後の課題として検討してまいります。ご理解いただけますと幸いです。